

# 地域経済研究所現地研修に参加して

—NPO法人「校舎のない学校」研修プログラムを通して—

経済学部 安井 豊子

2004年3月10から11日(1泊2日)、地域経済研究所現地調査研修として、岐阜県が福祉コミュニティの創造・再生を目指し、推し進めている事業である「ふるさと福祉村」の一つであるNPO法人「校舎のない学校」の研修プログラムに、経営学部教授で地域経済研究所所長の野松先生、経営学部岩坂先生、高橋信一先生そして経済学部真野先生と共に参加させていただきました。「ふるさと福祉村」は本来の理念を具現化する方向で、岐阜県内で地域のニーズに見合った具体的な内容を盛り込んだものとして、今まさに展開、発展しています。例えば、経済の再生を中心としたもの、地域の高齢者や障害者の介護ニーズを満たすことを目的としたものなどがあります。その中で今回、われわれが参加したNPO法人「校舎のない学校」は、岐阜県池田町の社会福祉法人新生会「総合ケアセンターサンビレッジ」の事業の一環として展開されており、地域に入りこみ、地域住民の生活そのものから目的課題を達成するための学びを得るという教育機能を持つものでした。そのため、①環境にやさしい建築コース②山村と町の交流コース③地域医療コース④高齢者福祉コース⑤子育てコース⑥私の人生設計コース等の研修プログラムが用意されていました。今回われわれは、その多彩なプログラムのコースの中で、③と④を融合させた高齢者地域医療・福祉コースなる大変、密度の高いプログラムを用意していただき、「総合ケアセンターサンビレッジ」の施設サービス、在宅サービスの実態を見学、対象者とのふれあい、体験学習を通して理解し、また、池田町の人々の生活課題(特に高齢者の医療・福祉)そのものを拝見し、それへの取り組みの実態をしっかり学ばせていただきました。

次に、私がこの研修を通して学んだことの中身について、述べさせていただきます。「総合ケアセンターサンビレッジ」は介護老人福祉施設をはじめ、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション、認知症対応型協働生活介護施設、居宅介護支援事業所、介護福祉士養成施設等を設け、高齢者の医療と福祉のあらゆるニーズに地域で対応されているわが国の高齢者保健医療・福祉サービスのモデル機関として名実共にすばらしい機関でした。まさに高齢者の生活課題を中心に地域を射程に置き、コミュニティ福祉の展開をされていました。私は、1990年代にアメリカに渡り、理論体系化されたケースワークがイギリスで1980年代後半に慈善組織協会が設立され、スラム街の貧困と疾病の悪循環に苦しむ工場労働者への友愛訪問から始まったケースワークの実践のコミュニティワーク版を見ているかのような気がいたしました。どういうことかと言いますと、コミュニティワークもケースワークより少し遅れますが歴史も古く、理論もコミュニティオーガニゼーションとして古くからありますが、わが国では、コミュニティワークの実践はまだ手探りの域を超えておらず、わが国の実践に見合った理論化もこれからのところであるのが現状です。そのような中で、今わが国の高齢者福祉課題に見合ったコミュニティワークの実践が、池田町では「総合ケアセンターサンビレッジ」を中心に行われているではありませんか。この実践の積み重ねを普遍的に理論化させていくと、わが国における21世紀にふさわしいコミュニティワーク論が形成されるのではと心が駆り立てられました。ただ、一つだけ辛口にものを申すことをお許しいただけるのであれば、池田町のすべてが、もしかすると「総合ケアセンターサンビレッジ」に依存しており、

公的機関や他の保健医療・福祉サービス機関が育ってきていないのではないかとといった危惧を覚えました。もしこの私の危惧が現実であれば、どうしてもサービスの内包化は避けられないし、やはり他の機関の成長を妨げないとも限らないと思われまます。市町村合併がすぐそこに迫ってきていることもあり、「総合ケアセンターサンビレッジ」の実践活動が池田町の限られた人々だけにとどまらず、多くの人々に届いていくよう、まずは地域の他機関との連携・調整そして協働を推し進めていければと感じた次第でした。

2日間にたくさんの人々との出会いという素晴らしい恵みを与えられました。「総合ケアセンターサンビレッジ」の利用者が召し上がるお料理を頂戴しました。真心のこめられた美味しいお食事でした。池田温泉へもお連れいただき、お肌つるつると変身いたしました。介護型施設入所者の男性のご老人から「田中真紀子さんが来られた時に真紀子さんに差し上げたが、あなたにも差し上げましょう。」と手作りの傘の置物を頂戴いたしました。どこか真紀子さんを彷彿とさせるものが私にあったのでしょうか。光栄なことです。(?)大切な宝物となりました。また、2日間御一緒させていただきました本校の先生方とは役職を超え、「校舎のない学校」同級生の契りを結ぶ関係性が出来上がりました。もう一度、最後に今回の研修の参加に感謝をし、ここに報告を終えたいと存じます。